



ESG Data

GOVERNANCE / ガバナンス



取締役の人数

9名

うち監査等委員である
取締役

3名

うち社外取締役の
人数

2名

(2025年6月時点)

取締役会開催回数

17回

役員の
取締役会への
出席率

99%

重大な情報セキュリティ
事故件数

0件

セキュリティ研修
実施回数

149回

コンプライアンス研修
実施回数

2回

通報・相談案件件数

10件

※各データはサンメッセ株式会社単体の2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)における累計数値を報告しています。

ENVIRONMENT / 環境

INPUT

用紙	20,924t	↓
インキ	357.6t	↑
PS版	86.3t	↓

PPC用紙	1.9t	↓
ストレッチングフィルム	19.4t	↑
PPバンド	6.0t	↓

購入電力	14,451.3千kWh	↑
都市ガス	479.2千m ³	↓
A重油	0kl	↓
水道	8,681.0m ³	↑
井戸水	800.0千m ³	↓
ガソリン	119.3kl	↓

営業・企画
環境関連製品販売促進
環境品質についても最新の情報を積極的に提供しています。

デザイン・製版
工程のデジタル化
どんどん進化を遂げ、現像液を使用しない刷版も利用しています。

印刷
VOCの削減
多くの化学物質が使用される印刷の工程では、VOC削減が最大の課題です。

製本・加工
包装材料のリサイクル化
最終的に製品になる工程です。目に見えない環境品質には細心の注意を払っています。

配送・納品
エコドライブの実施
安全にそして正確にお客さまに製品を届け、さらにCO₂を削減することが使命です。

お客さま
環境品質の向上
最終の廃棄まで考え、環境品質の向上に努めています。

OUTPUT

汚泥(スラッジ)	16.3t	↑
廃油	32.5t	↑
廃酸	0t	→
廃アルカリ	1.4t	↓
廃プラスチック	83.7t	↑
紙くず (難処理古紙) カーボン	136.5t	↑
木くず	57.2t	↑
繊維くず	12.4t	↓

用紙量	3,260.3t	↓
リサイクルの 廃プラスチック	5.3t	↑
使用済み刷版・ アルミ板	110.9t	↓

リサイクル率

99.0%

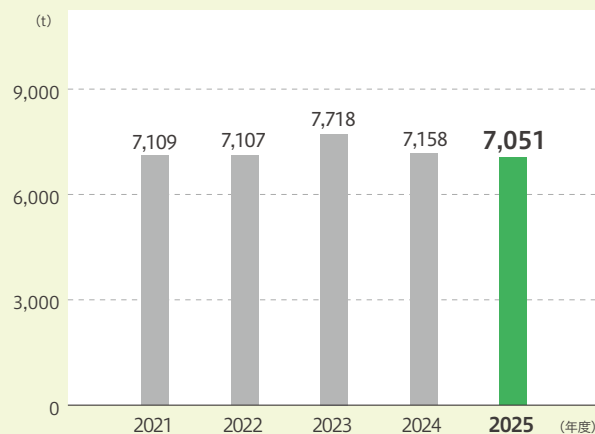
グリーン購入比率(文具類)

75.3%

カーボンオフセット件数

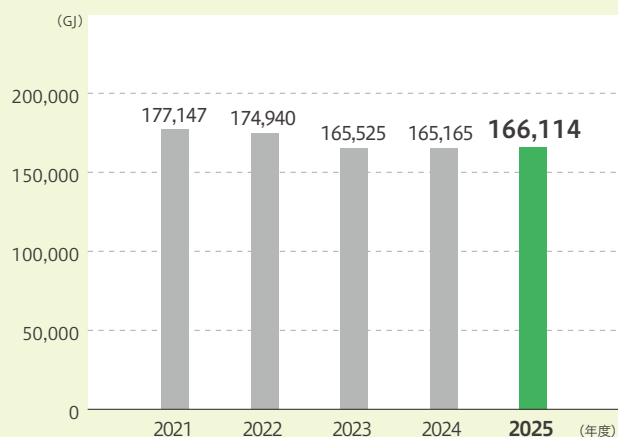
14件

温室効果ガス排出量(Scope1+2)

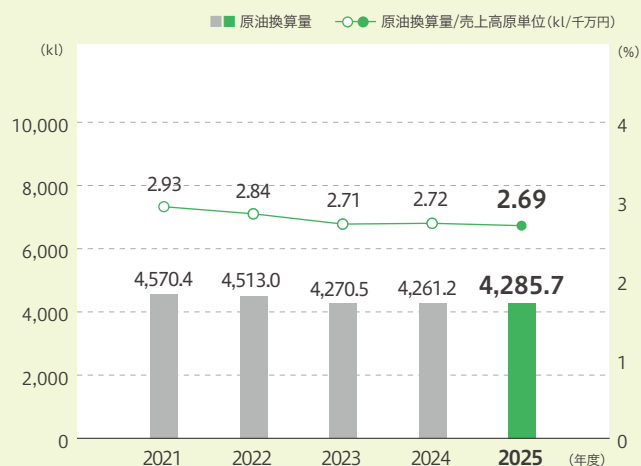


※今回より調整後排出係数を用いた数値に変更しました。

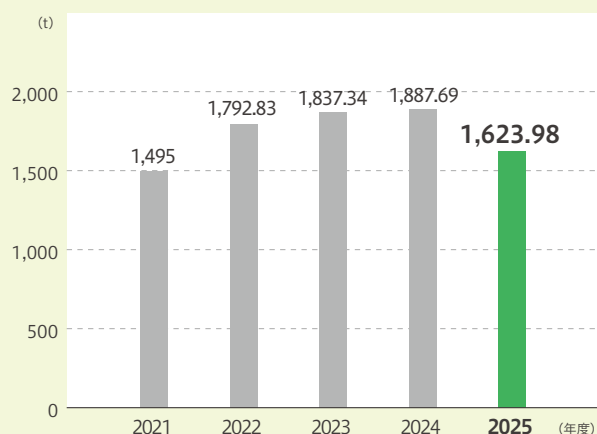
総エネルギー投入量



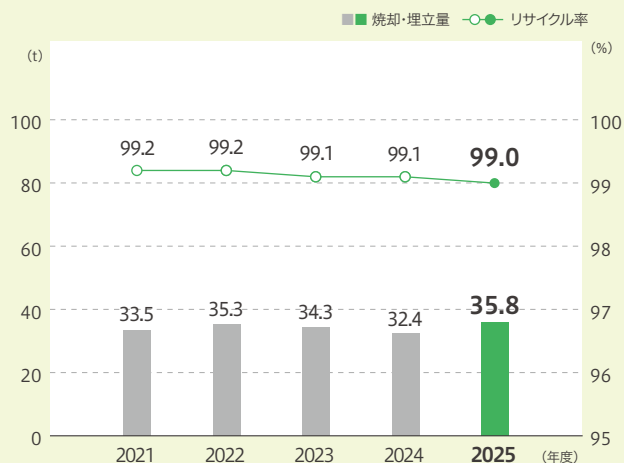
原油換算量／売上高原単位の推移



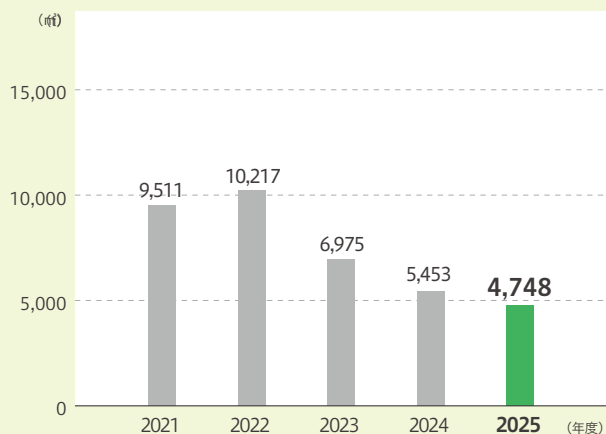
廃棄物等総排出量



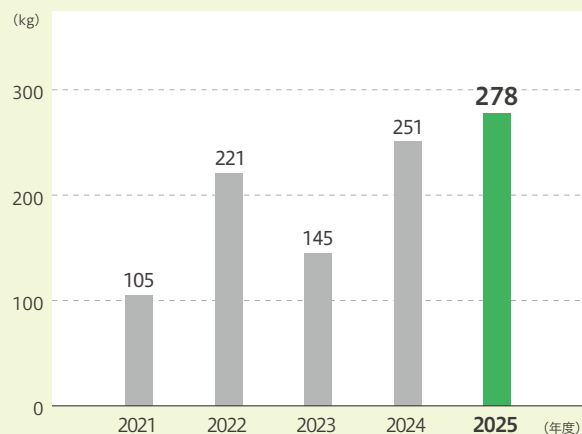
焼却処分・圧縮埋立量の推移とリサイクル率の推移



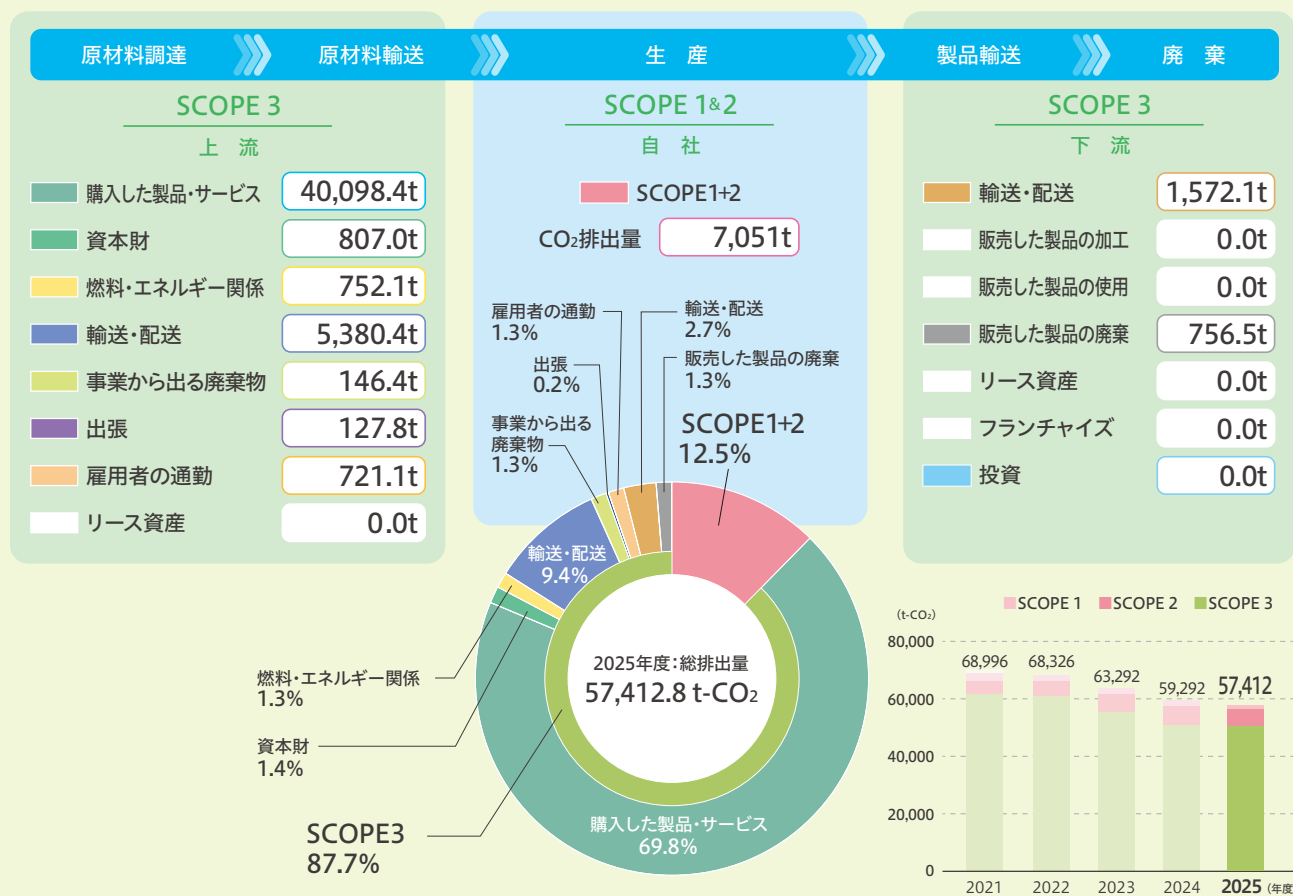
排水量



第1種指定化学物質排出量



SCOPE3 [サプライチェーン全体の温室効果ガス (GHG) 削減]



2025年度環境活動概要



目標達成

改善が見られたが
目標未達

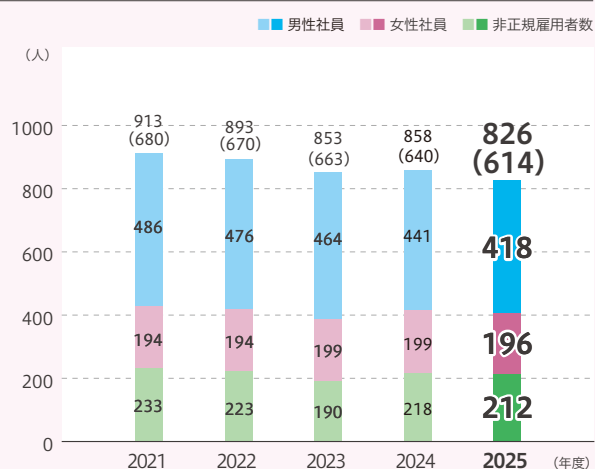
目標未達

	2025年度計画 および目標	2025年度実績	評価
省エネ、省資源、 リサイクル活動を 積極的に推進する	事故・刷り直し報告書の CO ₂ を対前年度実績 20%削減	印刷事故・刷り直しに伴うCO ₂ 換算量は、営業本部で73,866.4kg (目標比163.3%)、製造本部等の合計で290,416.5kg (目標比244.5%)となりました。いずれも目標値を上回ったため、目標未達となりました。	
	電 気 使 用 量 原 単 位 対 前 年 度 比 1 % 削 減	本社・中工場・西工場の累計電気使用量原単位は8,906kWh/千万円 (前年度比99.5%)でした。営業拠点等の累計使用量は251,650kWh (目標比95%)となりました。各製造拠点では目標を達成したものの、全体では目標未達となりました。	
	都市ガス使用量原単位 対 前 年 度 比 1 % 削 減	都市ガス使用量原単位は、第1・第3工場で114m ³ /10万枚 (前年度比104.7%)、第5工場で82m ³ /10万枚 (同106.6%)、本社工場全体で104m ³ /10万枚 (同103.5%)となり、目標未達となりました。一方、第5工場屋上への排気ファン設置によりオフ輪の脱臭温度を下げ、都市ガス使用量の削減に取り組みました。	
	焼却・埋め立てごみの削減 (リサイクル率99% 以上を維持)	リサイクル率は99.04%となり、目標を達成しました。総廃棄物量は前年度比で約2%減少し、各種廃棄物についても削減が進みました。また、産業廃棄物置場の点検とごみ分別の徹底を継続しました。	
	太陽光パネルの設置	化石由来電力の使用量ゼロを目指し、太陽光発電設備の導入を計画しました (2026年4月設置)。	
	空調の高効率指定設備 導入	本社第1工場および第1新工場の天井カセット型エアコン49台、室外機15系統について、2026年度中に省エネ型設備へ更新する予定です。	
	定常監視 (休日負荷電気量)	オフ輪の主電源と連動していた冷却水循環装置および温水ポンプを個別に電源操作できるよう改善した結果、休日の電力使用量が減少しました。	
	使用電気全体に占める 化石電気量削減の実施	2025年度の非化石電気使用量はゼロでした。化石由来電力の使用量ゼロを目指し、太陽光発電設備の導入を計画しました (2026年4月設置)。	
	デマンドレスポンスの全 日数実施 (月別・時間帯 別のデータ収集)	電力会社の供給予備率が高く、デマンドレスポンスの発動対象とはなりませんでした。	
有害物質の削減	化 学 物 質 リ ス ク ア セ ス メ ン ト の 維 持 ・ 管 理	3部署で計8件のリスクアセスメントを実施しました。併せて、全体換気の実施や保護手袋・保護眼鏡の着用など、リスク低減措置を講じました。	
	PRTR対象物質を含む製品 の追加ゼロ	PRTR対象物質を含む製品の新規追加はありませんでした。新規登録時のSDS確認および使用材料一覧表による管理も適切に実施しました。	
法と秩序を守り、 汚染防止に努める	利 害 関 係 者 か ら の ク レ ーム ゼ ロ 件 を 達 成	2025年4月、第5工場において隣接企業から異臭に関するクレームが1件発生し、目標未達となりました。対策として、排気ダクトの延長および排気ファンの設置工事を実施しました。	
	環 境 設 備 か ら の 漏 え い ゼ ロ 件	環境設備からの漏えいはなく、目標を達成しました。	
	業務用エアコン・チャラーの 簡易自主点検、定期点検結果 による予防保全の実施	本社・中工場・西工場および営業拠点において、業務用エアコンとチャラー (冷却水循環装置) の簡易自主点検を3か月ごとに実施しました。また、チャラーは年1回の業者点検を実施し、管理対象機器の確認と点検漏れの防止に取り組みました。	
自社独自の環境 保全活動の推進	化石エネルギー削減 非化石エネルギーへの転換	化石由来電力の使用量ゼロを目指し、太陽光発電設備の導入を計画しました (2026年4月設置)。	
	カーボンオフセット前年 度受注件数+2件	環境意識の高い企業の会社案内やカタログなどに採用され、営業部全体で14件を受注しました。目標の13件を上回り、目標を達成しました。	
	FSC®森林認証紙 新規クライアントの獲得 前年度受注先実績+2社	受注先は149社となり、目標の168社および前年度の154社を下回りました。一方、受注件数は1,869件 (前年度1,675件)、購入量は2,108t (前年度1,904t) となり、いずれも前年度実績を上回りました。	
	文具類のグリーン購入 率80%以上	文具類のグリーン購入率は75.3% (総購入額823,013円、うちグリーン購入額619,844円) となり、目標未達でした。今後の改善に向け、各拠点における意識向上に取り組みました。	
環境マネジメント システムの推進	更新審査におけるカテ ゴリーBの不適合ゼロ件	2025年7月にJQA (一般財団法人日本品質保証機構) の更新審査を受審し、環境カテゴリーBの指摘はありませんでした。	
職場教育の完全 実施	教育・訓練計画管理表の 実施率95%以上	全社の教育・訓練実施率は81.9%となり、目標未達でした。報告書の未提出や提出遅延を解消するため、報告フローの改善が必要です。	
地域社会との共生	清掃・ボランティア活動、工場 見学、協働事業を通じて地域 とのコミュニケーションの充実	5月に「オールサンメッセグリーン作戦」を実施し、6月には「小さな親切運動グリーン作戦」に参加しました。また、従業員家族や近隣住民を対象とした工場見学会を8月に、秋祭りを9月に開催しました。	

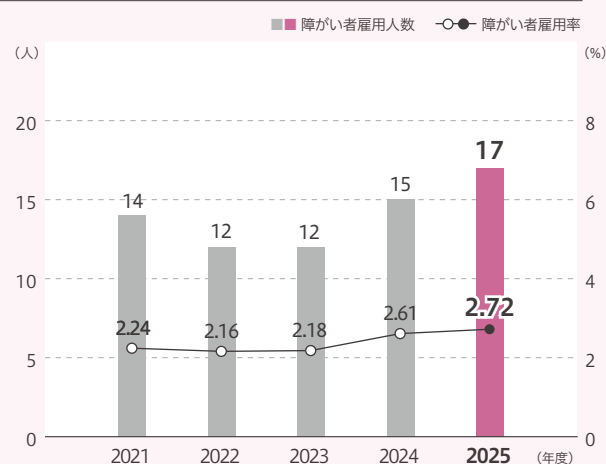
ESG Data

SOCIAL / 社会

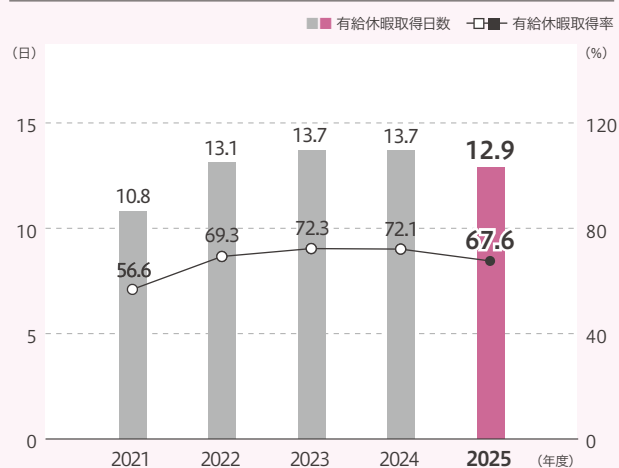
社員数の推移



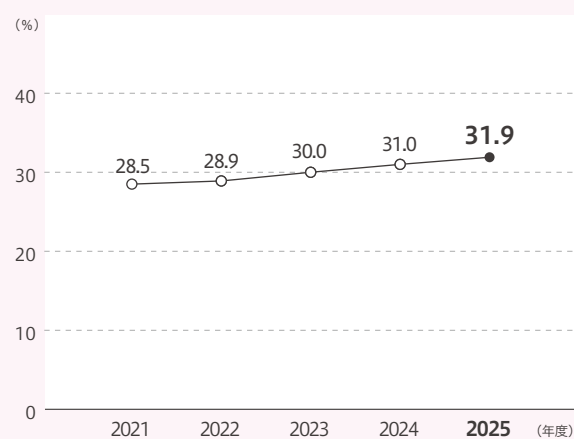
障がい者雇用の推移



有給休暇取得の推移



社員に占める女性の割合(正社員)



社会貢献支出総額(広告協賛費+寄付金)

24,793,124円

資格・技能検定取得
奨励手当支給者数

272名

平均年齢(正社員)

43.8歳

平均勤続年数(正社員)

22.2年

教育研修実施回数

45回
(2025年度 教育計画より)

ISO30414に基づく人的資本経営に関する指標

※注記がない項目は2025年度の実績

4.7.2 コンプライアンス及び倫理		
苦情の件数及び種類	苦情件数 10件	
懲戒処分の件数及び種類	懲戒処分件数 0件	
4.7.3 コスト		
全ての労働コスト	8,377,276千円	
外部の労働力にかかるコスト	3,423,826千円	
平均給与及び報酬の割合	年額報酬平均5,823千円（男性 6,261千円、女性 4,687千円）	
総雇用コスト	5,351,204千円	
従業員一人当たりのコスト	5,472千円	
採用コスト	1,600千円	
4.7.4 多様性(ダイバーシティ)		
a)年齢	正社員の人数 0-14(歳):0名 30-50(歳):306名 15-30(歳):90名 50 超(歳):218名	
b)性別	正社員の人数 男性:418名 女性:196名	
c)障がい	障がい者雇用率(2025.6現在) 2.72%	
4.7.6 組織文化		
エンゲージメント／従業員満足度／コミットメント	従業員満足度調査(2026.1-2026.4実施)	
4.7.7 組織の健全性、安全性及びウェルビーイング		
労働災害の件数	労働災害の状況 労働災害の件数:4件 災害率(度数率):1.14 強度率:0.077	
仕事中の死亡者数	業務中死亡者数 0名	
4.7.8 生産性		
EBIT／収益／売上高／従業員当たり利益	335.6千円	
人的資本RoI	0.067	
4.7.9 採用、異動及び離職		
離職率	新卒3年後離職率(2023年4月入社分) 31.6%	
希望退職率(定年退職を除く)	希望退職率 3.1%	
退職／離職の理由／理由ごとの退職・離職者	希望退職者数 20人※定年後再雇用者を除く	
4.7.12 労働力の利用可能性		
従業員数	総従業員数 930名 ※役員、正社員、嘱託、パート、アルバイト含む	
フルタイム換算人数	フルタイム換算人数従業員数 835名	
臨時的な労働力	パートタイム人員数 95名	